



Metro  
Edmonton  
Japanese  
Community  
School

## コミュニティースクールニュース 2007年4月号

THE ASSOCIATION OF METRO EDMONTON JAPANESE COMMUNITY SCHOOL  
代表者 清水 聡 (会長) 10636-148St, Edmonton, Edmonton, Alberta, T5N3H1 TEL: 452-6093  
借用校舎 RICHARD SECORD SCHOOL 4025-117 St  
URL: <http://www.ualberta.ca/~tkin/MEJCS-index.htm>

### <会長からのメッセージ>

新入生の皆さん、おめでとうございます。新しい先生方、役員、ご父兄方、よろしくお願ひします。さて、4月5日の年次総会で新しい役員が承認され、新しい体制となって新学期がスタートしました。昨年もとて忙しい1年でしたが、今年も何かと忙しい1年になりそうです。まず、学校の移転、それに今年北米教師研修会のホスト校にもなっています。また、総会でも言いましたが、これからの我が校のあり方を話し合っていく、考えていく、そのような機会や場を持ちたいと考えています。そして、毎年行なっている、運動会、学芸会、弁論大会、などなど・・・我々役員だけでは手の回らないことも有るでしょう、そのようなときにはボランティアを募りますので、ぜひご協力ください。

先日の本年度第一回の役員会で決めたのですが、役員は当番を免除する、しかし、4~9月まで生徒が休み時間に外遊びをする時は2人ずつ外に出て生徒を監視する。(雨などで外で遊べない時をのぞく)というものです。ここのところ役員が役員としての仕事をしている時に当番と重なり、役員の仕事をつたび中座したり、二人組になっている相手の方に迷惑をかけたりにしていたことへの対策です。みなさんのご理解とご協力をお願いします。

この数年、学年代表をきめ、その方たちを中心に先生との連絡や、運動会などのイベントで活動し、とても良い結果を生んでいます。学年代表に選ばれた方は、お忙しいでしょうがご協力をお願いします。

これから1年、いろいろな企画が目白押しです。みんなで力を出し合って、新しい補習校を築き上げていきましょう！

会長 清水 聡



### <校長からのメッセージ>

この冬は、本当に長く感じました。今年度の入園・入学式は、まだ雪があちこちに残る4月5日に行われ、幼稚科年中組2クラス10名、年長組11名、小学1年5名、小学2年2クラス15名、小学3年4名、小学4年11名、小学5年5名、小学6年2名、中学1年4名、中学3年7名、全生徒数74名で新学期が始まりました。プレスクールから10名ほど幼稚科に入園したことが、生徒数増加の大きな理由となってい

ますが、今後もさらに増えることが予想され、本校もますます活気のある学校になりそうです。

もうすでに授業が始まって3週目になりますが、各クラスの様子をちょっと覗いてみました。どのクラスでも、熱心に学ぼうとしている生徒達の姿を見ることができ、たいへんほほえましく、また、頼もしく思いました。これからの1年間、充実した学校生活を送って欲しいと思います。

「何事も始めが肝心」とよく言われます。教室においてもそうだと思います。担任は、生徒にまず、教室での約束事をしっかり守るように伝えます。それは、今後の教室運営を円滑にするためです。例えば、「毎週の宿題をきちんとやること」、「教室にもともと置いてあるものには触らない」、「発言するときは手を上げて、先生の許可を得てからする」等々、決まりが守られてはじめて、授業もスムーズに行われるようになります。ご家庭でも、このことを十分に話し合ってくださいと思います。

この学校で効果的な学習をするには、授業で学んだことをきちんと復習することが大切です。そのためには日頃の家庭学習が欠かせません。5月から月初めに、各クラスの「月案」を配りますので、これに基づいて宿題指導をしていただくようお願いします。子どもたちは、お父さんやお母さんが自分の勉強に関心を持ってくれると、とても喜びますし、いっそうの励みにもなりますから、親子で工夫をして、楽しみながら家庭学習をしっかり続けていって欲しいと思います。

私達教師は、保護者の皆様と密接に連絡を取り合って、生徒一人一人が着実に日本語力を伸ばせるような指導を心がけていくつもりです。今後とも、お互いに協力をしていきましょう。4、5月にクラス懇談会を開き、各クラスの方針について話し合いますが、率直なご意見をお寄せください。この一年間、どうぞよろしくお願ひいたします。

校長 常田いち子



### <校長からのメッセージ2>

私は、教務に専念すればよいという条件で校長職を引き受けましたが、この1年間やってみて、必ずしもその職務が教務だけに限られないことが分かりました。特に、クラス編成(クラス数や教師数)を決定する際など、それが学校の財政と直接関係することであるため、どうしても経営・運営のことも考慮しなければな

りませんでした。そのことから、本校が持つ構造的な問題にも目を向けざるを得なくなり、昨年度3月号で気づいた点を書きました。今回は、それらの問題について、私なりの考えを述べさせていただきます。

前回、「日本語力に大きな差を持つ生徒がいるクラスは、教師の対応が難しく、そのためクラスをできるだけ少人数にする必要があること」、その結果、「生徒数の増加が教師数の増加を招き、これが財政難につながる」という問題を指摘しました。では、生徒の日本語力にどうして差が生じるのでしょうか。これは幼児期からの言語体験によって決まると思います。家庭で日本語を使って育った子どもと英語のみで育った子どもとでは、当然大きな差ができます。バイリンガルの専門家によると、国際結婚の家庭でも幼児期からきちんと日本語と英語の使い分けを訓練させると、子どもの日本語力が充分に伸ばせることが分かっています。そのような訓練を各家庭で心がけていただければ、

「生徒のレベル差」という問題はかなり緩和されることとなります。国際結婚の家庭が圧倒的に多くなった今、「学校の教育方針を変えなければならない？」という意見が聞かれますが、その答は、保護者の皆様の姿勢次第で、「イエス」とも「ノー」ともなり得ます。生徒のレベル差が緩和されれば、今の教育方針を維持することは、充分可能だと思います。

さらに、クラスのサイズの問題です。多人数のクラスを運営していくには、資質をそなえ、豊富な経験を持つ教師でなければ難しいことは明らかです。そのような教師を育てて、長い間定着してもらえる体制を考えていかなければなりません。これまでこの学校は、長年貢献して下さった先生方のご厚意に負うところが大きかったと思います。これからもそれを期待する考えがあるようですが、そのような考えは現実に即していないと私は思います。教育の質を考えるなら、教師雇用について整備していくべきところはきちんとしていくべきでしょう。むしろ、それによって先に述べた財政難に至る悪循環も回避できると思われま

す。次に、本校では、生徒の保護者が経営・運営を行ってきたこと、そして、保護者が教師であったことから、組織的にもともと「conflict of interest」を持っているという問題です。これまでは選択の余地がなかったのですが、今後は、組織として客観性を持たせる方向を模索しても良い時期に来ているのではないのでしょうか。そのために、以下のことを提案します。

1. 諮問委員会の創設： 第三者（卒業生の父兄や元教師を含む）に構成してもらい、学校の運営、教育方針等、重要な事項の方向性の判断をしてもらうためです。2年で交代する役員会では、教育方針、経営方針の一貫性と公正さを保つのは難しいからです。
2. 役員会の役割分担の見直し： 役員の持つ決定権はたいへん責任の大きなものですから、会長・副会長をはじめ各役員の役割を明確にします。場合によっては、役員研修も行い、役員交代の度に起

こる問題を最小限に留めます。そのために必要であれば、会則も整備します。

3. 役員会での決定事項をウェブサイトで公開： 諸問題を会員と共に考えていくために情報公開が必須だと思います。もちろん、差し支えのある事項は非公開とします。
4. 校長職に任期を設定： 校長のなり手がいないという問題があるため、2年という任期を設け、事前に副校長のポジションを設定して交代をスムーズにできるようにします。人選の責任は役員会にあります。
5. 教師の謝礼に対する対応： 年度替わりのこの時期、様々な質問が寄せられましたが、私自身知らない部分が多くて戸惑いました。教師の謝礼体系はこれまで慣例とされてきた部分も含めて、明文化していくことが急務だと思います。さらに、毎年きちんと見直していくことも必要だと思います。

以上のことは、校長の職務から逸脱したのですが、これまでの経過からやむを得ず考えさせられたことです。今後、後援会の皆様の議論のたたき台にさせていただきたく、あえて述べさせていただきました。

校長 常田いち子




## <勉強会のお知らせ>

### 「バイリンガル教育の達人」勉強会

去年から開いている、補習校保護者を対象にした勉強会を、今年もまた開きたいと考えています。それぞれの置かれている状況やゴールは様々ですが、プレイスクールを含め補習校に子供を連れて来ている保護者の共通の願いは、「子供をバイリンガルに育てる」ことです。しかし、バイリンガルは自然に育つものではありません。子供を本当のバイリンガルに育てるためには、家庭での真剣な努力が求められます。100%成功するわけではありません。バイリンガルになるどころか、セミリンガル（二つの言語のどちらも十分に使えない）になってしまうこともあります。そこで、バイリンガル教育の理論と実践を学ぶための勉強会を、補習校で定期的開催したいと考えて、去年から実施してきているわけです。

早速、今年度第一回目の勉強会を、下記の予定で行います。今回は、中等部にお子さんのいらっしゃるベテランお母さん2名（ダンウォルドさん・ラムジーさん）と小学部高学年にお子さんがいらっしゃる中堅お母さん2名（ロペスさん・開出さん）をお招きして、体験談を交えながら、ご助言を仰ぎます。お話の後に質疑応答の時間も設ける予定ですが、より効率的にお話をうかがうためにも、みなさんの関心が特に高い問題を語り部（？）のお母さん方に事前にお知らせしておきたいと思っています。「長く勉強を続けさせるための

秘訣は？」「宿題の時間がけんかになってしまう、どうすればいい？」といったような質問がきつとみなさんもおありでしょう。ベテランお母さんに聞いてみたい質問を、5月2日（水）までに、勉強会担当役員の守田（sachiomorita@hotmail.com/466-3278）まで、お知らせください。

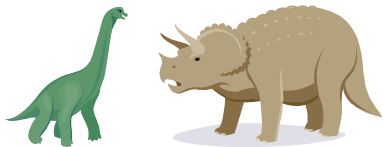
日時： 5月4日（金） 6:30～7:30	
場所： お茶の広場 （校舎西側出入り口付近）	

講演後、ベテランお母さんを囲んで茶話を予定しています。何か一品、お持ち寄りいただければ幸いです。みなさま、お誘い合わせの上、ふるってご参加下さい。  
勉強会担当 守田 幸男・小林 麗

### <ローヤルチレル恐竜博物館 Camp へのお誘い>

アルバータ州ドラムヘラーにある Royal Tyrrell Museum から次のお誘いを頂きました。  
恐竜博物館ではいろいろなキャンプを催していますが、今年7月24日から27日まで日本から男子12名（9歳から13歳）と男性12名（お父さんが多いのでしょう）が3泊4日で来ます。日本からの参加者と地元の日本人、それから恐竜博物館と一緒にカナダの文化やもちろん古世代について学びながら、親睦を図り豊かな経験が出来る機会を作りたいと思っています。  
カナダからは、エドモントンの日系コミュニティからカナダに長く住んでいてカナダ文化を理解し日本語と英語が出来る子供6名（9歳から13歳）と大人6名（保護者）の参加者を求めています。2月にお知らせをしたときには参加が男性に限られていましたが、男女どちらでもよいことになりました。  
キャンプ場は恐竜博物館から歩いて20分のところにあり、teepeeに泊まります。食事はキャンプ場のスタッフが作ってくれます。  
興味のある方は、5月6日までに清水（satoshi\_s@shaw.ca）までお伝えください。詳しい案内書をお渡しいたします。

会長 清水 聡



### <2006-07 年度作品集について>

今年、初めて作品集をCD化致しました。それにあたり父兄ボランティアが手伝ってくださり、本当に感謝いたします。初めてのCD化ということで、テクニカルプロブレムが発生している可能性があります。お子様のファイルが開けないなど問題がある方は早めに元田（sachiko@interbaun.com）までメールにてお知

らせください。問題がある方は、後日対処させていただきます。ご迷惑をおかけ致しますが、ご理解、ご協力をお願い致します。

作品集担当 阿部 美香子・元田 幸子

### <図書よりお知らせ>

6月の日本語学校補習校移転を前に、少しずつ大人の本、ビデオの整理をしたいと思っています。つきましては、来週（4月27日）より、廃棄処分した大人の本、ビデオを各25セントで販売しますので、興味のある方は、図書室へお立ち寄り下さい。また、図書の貸し出し時間は、6:00～8:00となっておりますので、ご協力お願いします。

図書係 ロペス 一美



### <字典・辞典販売のお知らせ>

図書室では旺文社の漢字字典（\$29）と学研の新レインボー小学国語辞典（\$23）の販売を行なっております。授業で必要な方は図書係までお尋ねください。漢字字典は残り5冊、小学国語辞典は10冊あります。お支払いは現金またはチェックどちらでもかまいませんが、現金の場合はつり銭のないようにお願いします。  
図書係 ロペス 一美

### <父母のコーナー>

#### エドモントン近郊のお勧めスポット

今月は、小2と小4に娘さんがいらっしやり、ご自身は小学校1年生を担当していらっしやる山田先生からご投稿いただきました。

「依頼を受けたものの、お勧めできる所なんて知らないし～、困ったな・・・。」とぼやいていたところ、「どんなレストランを探しているの？家族で行くならBrits！あそこのFish&Chipsはおいしいぞー。エドモントンーなんだ。」と主人。「え～！エドモントンーなの？じゃあ、なんで私たちを連れて行ってくれたことないのよー。」お値段の方もお手頃ということなので、早速行ってきました。

土曜日の午後6時頃という一番混む時間帯に行ったのにもかかわらず（バカな私達）、所狭しと並ぶ20卓余りのテーブルの一つに辛うじて着くことができました。魚が新鮮だということだけど、これだけ繁盛していればそりゃあ新鮮だろうなあ・・・などと思いながら待つこと40分。待ちに待った「129番」が呼ばれたとき、私達家族4人は一斉に「ハイ！」「Me！」

と手を上げていました。皆の羨ましそうな視線・・・。  
まるでドアプライズにでも当たったような気分でした。

以前あるレストランで Fish&Chips を注文した時、  
あまりの衣の厚さに中の魚だけを食った覚えがあるの  
ですが、Brits の Fish は薄い衣が「カリカリ！パリパ  
リ！」と、とても美味しかったです。Fish に付けるタ  
ルタルソースやサイドディッシュのコールスローの味  
もグッドでした。皆これを食べに来ているから、どん  
なに待たされていてもニコニコしていたんだな～と納  
得。食べに来ている人は意外に中高年のカップルが多  
かったです。

お値段の方は、魚の種類によって違いますが  
1Fish&Chips+Sidedish のセットで\$9.50～。Fish を 1  
切れ追加するごとに\$4.00 程 up。また Fish のみでも注  
文でき、魚の種類は 10 種類程の中から選べます。も  
ちろんテイクアウトも OK です。

三代目が営む Brits。皆さん、もうご存知でした？

#### Brits Fish&Chips

6940-77ST (私達が行ってきたのはこちらです)  
12556-132Ave

.....

我が家のお勧めスポットをぜひ紹介したい！という方  
は、ニュースレター編集担当の小林までご連絡くださ  
い。また、私のほうから、お勧めスポットコーナーへ  
の執筆をお願いすることがありましたら、ご協力くだ  
さい。投稿の締切りは毎月第三金曜日です。

#### <「おめでとう！」コーナー>

Edmonton Public School 主催の Art du Jur プログラ  
ムより、小 4 の清水紗羅さんの絵が選出されて City  
Hall の Kids in the Hall Bistro に展示されることにな  
りました。期間は 2007 年 3 月 27 日～6 月 9 日までです。  
Website<www.epsb.ca>でも公開しています。

絵の展示されている Bistro レストラン、お手ごろな  
お値段で雰囲気もいいレストランです。席数があまり  
多くないので、いらっしゃるなら予約をされたほうが  
いいと思います。

月曜： 8:00am～2:30pm  
火曜日～金曜日： 8:00am～4:00pm  
TEL： 413-8060

#### <「おめでとう！」コーナーへの投稿のお願い>

「おめでとう！コーナー」は、補習校生徒ならびに



会員の学校外での活躍や業績を紹介し、称  
えていくコーナーです。コンテストで入賞  
した、所属しているスポーツチームで著し  
い活躍を遂げた、などなど、いいニュー  
スを募集しています。自薦・他薦どちらでも  
結構ですので、小林までお知らせ下さい。

#### <ニュースレターについて>

ニュースレターへの記事の掲載をご希望の方は、担  
当の小林までご連絡下さい。投稿の締切りは毎月第三  
金曜日、発行は第四金曜日です。

#### <5・6月の当番>

4/27 (金)	マクレーン、増田
5/4 (金)	大沢、岡
5/11 (金)	大堀、永田
5/18 (金)	山本(千)、中津
5/25 (金)	滝田、山本(奈)
6/1 (金)	井戸賀、ザサダ
6/8 (金)	植林、エイプデイル
6/15 (金)	ラムジー、丁
6/22 (金)	王、稲毛

当番の変更がありましたら、お早めにダンワールドま  
でお知らせ下さい(437-3457)。

スクールニュース校正  
編集

ジャクソン 好子  
小林 麗

